

平成27年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書  
(平成26年度対象)

平成27年11月

人吉市教育委員会

# 目 次

〈 は じ め に 〉 .....	1
人吉市教育委員会委員名簿（平成27年11月27日現在） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
<b>1 教育委員会の活動及び運営状況</b> .....	2
(1) 教育委員会の概要 .....	2
教育委員会の目的 .....	2
人吉市教育委員会委員（平成26年度の教育委員） .....	2
(2) 教育委員会の主な活動内容 .....	2
教育委員会の活動状況 .....	2
教育委員会会議 .....	3
① 会議の開催状況（平成26年度実績） .....	3
② 審議状況 .....	3
教育委員の活動 .....	3
① 教育委員の所管施設訪問状況 .....	3～6
(3) 教育委員会の主な事業の概要 .....	7
<b>2 点検評価の目的</b> .....	8
<b>3 学識経験者の知見の活用</b> .....	8
○ 学 識 経 験 者 .....	8
<b>4 点検評価の対象</b> .....	9
○ 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業 .....	9
<b>5 点検評価の結果</b> .....	9
(1) 点検評価シートの見方 .....	10～11
(2) 総合評価基準 .....	12
(3) 点検評価シート	
目次 .....	13
人吉市奨学金貸与事業 .....	14～15
人吉市花まる教室事業 .....	16～17
学校給食費滞納対策事業 .....	18～19
家庭教育学級事業 .....	20～21
スポーツ交流イベント事業 .....	22～23
史跡人吉城跡保存修理事業 .....	24～25
歴史的庭園群保存活用事業 .....	26～27
人吉球磨総合美展事業 .....	28～29
移動図書館巡回事業 .....	30～31
〈 教 育 方 針 〉 .....	32

〈はじめに〉

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、平成26年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表するものです。

## 人吉市教育委員会

### 人吉市教育委員会委員名簿

(平成27年11月27日現在)

委員（教育長職務代理者）	西口 詳一郎
委員	宮山 惇
委員	尾方 篤
教育長	末次 美代

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 1 教育委員会の活動及び運営状況

## (1) 教育委員会の概要

### 〈教育委員会の目的〉

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないとなっている。

本市においては、人吉市第5次総合計画を上位計画として、人吉市教育振興基本計画に基づいた教育目標の達成に向けて、教育委員会委員及び事務局を中心に高い使命感を持ちながら市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努力している。

### 〈人吉市教育委員会委員（平成26年度の教育委員）〉

役職名	氏名	就任	任期満了
委員長	西口 詳一郎	平成26年4月10日	平成30年4月9日
委員（職務代理者）	宮山 惇 (平25.1.1就任)	平成21年10月1日	平成29年9月30日 (平25.10.1再任) (平26.4.10再任)
委員	三倉 範子	平成25年1月1日	平成28年12月31日
委員	尾方 篤	平成25年7月1日	平成29年6月30日
委員（教育長）	末次 美代 (平25.7.1就任)	平成23年7月1日	平成27年6月30日

## (2) 教育委員会の主な活動内容

### 〈教育委員会の活動状況〉

教育委員会の活動としては、教育委員5名で、小学校6校、中学校3校、計9校の学校訪問を行い、教育現場の声を活かした教育行政を推進してきた。

教育委員としての見識を広め今後の本市教育行政の推進に生かすために、平成26年11月に佐賀市の教育先進地を視察し、小・中学校連携についての計画や実践について理解を深めた。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を年15回開催し、審議事項53件、報告・協議等13件について審議・協議を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定した。

更に、「広報ひとよし」を利用し、定例の教育委員会会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指している。

## 〈教育委員会会議〉

### ① 会議の開催状況（平成26年度実績）

会 議	開 催 数	傍聴者数
定例会	12回（月1回）	延べ11人
臨時会	3回	延べ1人

### ② 審議状況

#### （ア）付議案件数

議案	53件
報告・協議等	13件

#### （イ）会議に付された主な案件

- ・人事案件について
- ・教育委員会の点検及び評価について
- ・規則・要項の制定及び改正について
- ・奨学生の決定について
- ・一般会計予算について
- ・人吉市学校運営協議会委員の任命について
- ・損害の賠償について

## 〈教育委員の活動〉

### ①教育委員の所管施設訪問状況

#### （ア）学校訪問

区 分	対 象	期 日	教育委員出席状況
小学校訪問	6校	平成26年6月～ 平成27年1月	延べ30人
中学校訪問	3校		延べ15人

#### （イ）他の主な会議・行事等

会議・行事等	期日	教育委員出席状況
教職員辞令伝達式	平成26年4月1日	4名
小中学校入学式	平成26年4月9日	5名
人吉文化協会理事会	平成26年4月16日	1名
人吉市スポーツ推進委員協議会総会	平成26年4月17日	1名
人吉市子ども会育成連絡協議会総会	平成26年4月23日	1名

西校区公民館総会	平成 26 年 4 月 23 日	1 名
大畑校区公民館総会	平成 26 年 4 月 24 日	1 名
おどんな日本一高校生弓道大会	平成 26 年 4 月 27 日	1 名
おどんな日本一全国少年剣道大会	平成 26 年 5 月 3 日 平成 26 年 5 月 4 日	延べ 9 名
人吉市学校支援推進協議会	平成 26 年 5 月 7 日 平成 26 年 8 月 5 日 平成 26 年 11 月 26 日 平成 27 年 1 月 14 日	延べ 4 名
中原校区公民館総会	平成 26 年 5 月 10 日	1 名
人吉市民早起きソフトボール大会 「町内の部」表彰式	平成 26 年 5 月 14 日	1 名
犬童球溪頭彰音楽祭協議会	平成 26 年 5 月 15 日 平成 26 年 6 月 19 日 平成 26 年 7 月 24 日	延べ 6 名
中学校体育大会（三中は大畑小と合同）	平成 26 年 5 月 18 日	3 名
人吉市 PTA 連絡協議会総会	平成 26 年 5 月 20 日	1 名
第 28 回九州都市教育長協議会定期総会・ 研究大会	平成 26 年 5 月 21 日	1 名
第 66 回全国都市教育長協議会定期総会・ 研究大会	平成 26 年 5 月 22 日～23 日	1 名
小学校運動会（人吉東小以外）	平成 26 年 5 月 25 日	3 名
東校区市民体育祭	平成 26 年 5 月 25 日	1 名
熊本県市町村教育委員会連絡協議会定例会	平成 26 年 5 月 26 日	2 名
放課後パワーアップ教室開講式（人吉東小）	平成 26 年 5 月 28 日	1 名
東西コミュニティセンター成人講座開講式	平成 26 年 6 月 2 日	1 名
社会教育委員会	平成 26 年 6 月 3 日 平成 26 年 10 月 7 日 平成 26 年 12 月 16 日 平成 27 年 3 月 16 日	延べ 4 名
放課後パワーアップ教室開講式 （人吉西小・大畑小・西瀬小・中原小）	平成 26 年 6 月 3 日	2 名
放課後パワーアップ教室開講式（東間小）	平成 26 年 6 月 4 日	1 名
小学校プール開き	平成 26 年 6 月 9 日 平成 26 年 6 月 17 日 平成 26 年 6 月 18 日	延べ 3 名
教育委員会制度改革に係る説明会	平成 26 年 6 月 27 日	2 名
人吉市青少年育成市民会議総会	平成 26 年 6 月 28 日	1 名

人吉城跡保存整備専門指導会議	平成 26 年 7 月 4 日	1 名
御下の乱追悼式	平成 26 年 7 月 7 日	1 名
人吉球磨児童による童話発表大会	平成 26 年 7 月 20 日	2 名
夏休みパワーアップ教室開講式	平成 26 年 7 月 22 日	3 名
校区公民館長会議	平成 26 年 7 月 23 日 平成 26 年 10 月 14 日 平成 27 年 1 月 9 日 平成 27 年 3 月 20 日	延べ 4 名
人吉市学校給食センター運営委員会・ 常任委員会・総会	平成 26 年 7 月 24 日 平成 27 年 3 月 25 日	延べ 2 名
草木山川学校 夏版	平成 26 年 7 月 25 日 平成 26 年 7 月 29 日 平成 26 年 7 月 31 日	延べ 7 名
夏休みパワーアップ教室閉講式	平成 26 年 7 月 30 日	3 名
人吉市・指宿市子ども会交歓会	平成 26 年 7 月 30 日～31 日	延べ 2 名
人吉市子ども会球技大会	平成 26 年 8 月 3 日	1 名
くまもと子ども芸術祭 2014in 人吉 第 5 回地域実施委員会	平成 26 年 8 月 11 日	1 名
くまもと子ども芸術祭 2014in 人吉	平成 26 年 8 月 17 日	5 名
犬童球溪顕彰音楽祭 個人コンクール予選	平成 26 年 8 月 23 日～24 日	延べ 3 名
第 2 回球磨の民謡全国選手権大会	平成 26 年 9 月 6 日	1 名
第 18 回球磨川舟唄全国大会	平成 26 年 9 月 7 日	1 名
人吉市青少年育成関係 5 団体交流会	平成 26 年 9 月 19 日	1 名
小学校運動会（人吉東小）	平成 26 年 9 月 28 日	1 名
熊本県市町村教育長研修大会	平成 26 年 10 月 2 日～3 日	1 名
熊本県公立学校施設整備期成会定期総会	平成 26 年 10 月 9 日	1 名
人吉球磨総合美展テープカット・表彰式	平成 26 年 10 月 11 日	3 名
西瀬校区市民体育祭	平成 26 年 10 月 12 日	1 名
人吉城歴史館特別展	平成 26 年 10 月 13 日	3 名
第 43 回熊本県人権教育研究大会	平成 26 年 10 月 18 日	4 名
球磨人吉小中学校長・PTA 会長合同研修会	平成 26 年 10 月 24 日	1 名
ひとよし花まる学園大学開講式	平成 26 年 10 月 25 日	1 名
西校区・中原校区市民体育祭	平成 26 年 10 月 26 日	2 名
人吉文化祭前夜祭	平成 26 年 10 月 29 日	1 名
犬童球溪顕彰音楽祭個人コンクール本選	平成 26 年 11 月 1 日	1 名
人吉文化祭	平成 26 年 11 月 2 日	3 名

大畑校区市民体育祭	平成 26 年 11 月 2 日	1 名
犬童球溪顕彰音楽祭（碑前祭・学校発表会）	平成 26 年 11 月 7 日	3 名
犬童球溪顕彰音楽祭音楽のひろば	平成 26 年 11 月 9 日	2 名
読書感想画コンクール表彰式	平成 26 年 11 月 15 日	4 名
教育委員視察研修（佐賀市）	平成 26 年 11 月 18 日～19 日	5 名
インターネット依存社会から子どもたちを守る市民大会	平成 26 年 11 月 29 日	1 名
人吉駅伝大会	平成 26 年 12 月 7 日	1 名
ひとよし花まる学園大学閉講式	平成 26 年 12 月 14 日	1 名
くまもと子ども芸術祭 2014in 人吉 第 3 回実行委員会	平成 26 年 12 月 24 日	1 名
人吉市成人式	平成 27 年 1 月 3 日	5 名
東西コミュニティセンター成人講座フェスティバル	平成 27 年 1 月 25 日	1 名
熊本県市町村教育委員大会	平成 27 年 1 月 30 日	4 名
人吉市青少年育成市民会議「子ども会交流発表会」	平成 27 年 2 月 1 日	1 名
九州都市教育長協議会第 2 回理事会開催に伴う意見交換会及び情報交換会	平成 27 年 2 月 5 日～6 日	1 名
中原コミュニティセンター成人講座閉講式	平成 27 年 2 月 7 日	1 名
おどんな日本一！のど自慢大会審査員	平成 27 年 2 月 11 日	1 名
ひとよし春風マラソン大会	平成 27 年 2 月 14 日～15 日	延べ 5 名
人吉市立教育研究所研究発表会	平成 27 年 2 月 19 日	4 名
人吉市学校支援ボランティアの集い	平成 27 年 2 月 21 日	1 名
大塚コミュニティセンター成人講座閉講式	平成 27 年 2 月 26 日	1 名
東間コミュニティセンター成人講座閉講式	平成 27 年 3 月 1 日	1 名
放課後パワーアップ教室閉講式	平成 27 年 3 月 10 日	4 名
中学校卒業式	平成 27 年 3 月 15 日	3 名
小学校卒業式	平成 27 年 3 月 24 日	5 名
草木山川学校 春版	平成 27 年 3 月 26 日	2 名
人吉市学校給食センター納入業者指定書 交付式	平成 27 年 3 月 30 日	1 名



### (3) 教育委員会の主な事業の概要（今年度点検評価対象事業以外の事業）

- ① 平成24年に策定された第5次人吉市総合計画のまちづくりの理念に基づき、人吉市教育の基本理念や目標、具体的施策を示す「人吉市教育振興基本計画」が平成25年に策定され、現在その遂行のため取り組みを進めている状況である。教育行政の推進にとって基本となるこの計画は、今後も国や県の動向、教育現場や地域の実情を考慮しながら見直していく必要があるため、第2次教育振興基本計画に向け検証も開始しなければならない。
- ② 老朽化に伴う第一中学校プール改修工事、人吉東小学校と中原小学校の給水設備改修を実施した。今後は緊急的に必要な非構造部材の耐震工事を予定しており、引き続き児童・生徒の安心安全な学習環境の確保を目指し、国庫補助等を有効活用しながら計画的に学校施設環境改善を進めていく。
- ③ 花まる教室に通う小学2年生（90名程度）を対象とし、自然の中での外遊び体験事業として「草木山川学校」を実施している。子どもたちに良質な驚きと感動を引き起こし、脳を活性化させ、生きる力を育むといわれる外遊びをコンセプトに、人吉の豊かな自然環境を活かした事業内容であり、参加者からも高い評価を得ている。夏版は夏休み期間中に川遊びを実施、春版は春休み期間中に旧田野小学校周辺を中心に豊かな自然を活かした野外体験活動を実施している。
- ④ 学校支援地域本部事業は、第二中学校区を対象としたもので、学校と地域の方々が学校の教育活動を支援するための組織として、平成20年度から連携体制が構築された事業である。学校からの支援要請に基づき、コーディネーター、ボランティア登録者の方々の読聞かせ、環境整備、学習支援、校外学習引率などを実施しており、地域ぐるみで子どもたちに関わり、見守り育てていくことで、学校教育の充実だけではなく地域教育力の活性化を図ることに繋がっている。今後の課題としては、ボランティアの高齢化に伴う対応や人材の確保などがあり、事業展開とともに継続してそれらの問題に取り組む必要がある。
- ⑤ カルチャーパレスの大規模改修工事は、利用者に配慮し工事中も大ホールは利用できるように小ホールのみで舞台機構と照明工事を行った。今後も利用者の安全性を最重要と捉えながら設備機能改善や安定性の確保のために、短期（3年以内）、中期（5年以内）、長期（5年以上）に分けた計画に沿って、順次改修工事を実施していく。

## 2 点検評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検評価」が位置づけられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

## 3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

教育委員会では、広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々なご意見、ご助言をいただき、そのご意見等を参考にしながら教育委員会の点検評価を行ったところです。

### ○ 学識経験者

長船 法文（おさふね のりふみ）氏 市PTA連絡協議会顧問
深水 雄二（ふかみず ゆうじ）氏 元市職員
国武 美幸（くにたけ みゆき）氏 元小学校教諭

#### 4 点検評価の対象

平成27年度に点検評価を行う事業は、平成26年度の人吉市教育方針に基づき教育委員会が実施した主要な9事業としました。

○ 人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業

課 名	点検及び評価を行う事業
教育総務課	人吉市奨学金貸与事業
学校教育課	人吉市花まる教室事業
	学校給食費滞納対策事業
社会教育課	家庭教育学級事業
	スポーツ交流イベント事業
歴史遺産課	史跡人吉城跡保存修理事業
	歴史的庭園群保存活用事業
市民文化課	人吉球磨総合美展事業
	移動図書館巡回事業

#### 5 点検評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら事業評価を行い、今後の方向性を示す総合評価をA～Dで示し、最終的な点検評価として意見をまとめました。

(1) 点検評価シートの見方

点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署					
1	事業名	教育委員会が実施した事務事業名			
2	担当課名	担当課名	担当者	—	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策
			事業の目的に合致した第5次総合計画における政策名称	事業の目的に合致した第5次総合計画における施策名称	

事業の内容					
4	誰のために行うか 【具体的な対象者・受益者など】	誰のために行う事業なのか			
5	何のために行うか 【目的・ねらい・コンセプト】	事業の実施により誰を、どのような状態にしたいのか (意図・ねらい・コンセプト)			
6	事業の概要	事業の全体概要			
7	コスト 財源内訳	年度	25	26	27
		合計	0千円	0千円	0千円
		① 国庫補助金	平成25年度にかかったコスト	平成26年度にかかったコスト	平成27年度のコスト予定額
		② 県補助金			
		③ 起債			
④ その他					
⑤ 一般財源	内：一般財源の額	内：一般財源の額	内：一般財源の額		

事業の成果と課題		
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	平成26年度事業の成果と実績
9	今後の課題や改善等	平成26年度事業実施に伴い、明らかになった課題と具体的な改善策

## 今後の事業計画

10 今後の事業の方向性

平成27年度以降における当該事業の「方向性」

## 学識経験者の意見

11

教育に関し学識経験を有する者の意見

## 教育委員会の評価

総合評価

12

総合評価  
基準に関  
してはP  
12のと  
おり

教育委員会における意見

## (2) 総合評価基準

区 分	評価結果に基づく改善等の内容	内容の詳細
A	現状どおり管理・運営を進めることが 適当	進捗状況も順調で、計画的に事業を進めるもの。
B	事業の進め方を改善検討	進捗状況はおおむね順調であり、事業内容にも意義があるためそのまま継続が望ましいものの、進め方等に改善の余地があるもの。
C	事業規模・内容または実施主体の見直しの検討	進捗状況も芳しくなく、結果もあまり期待できないが、事業規模・内容・実施主体に改善の余地があるもの。
D	事業の抜本的見直し、休・廃止の検討	進捗状況が大幅に遅れており、事業そのものに行政が関与する必要がなく休・廃止が望ましいもの。

## (3) 点検評価シート (P 1 4 ~ P 3 1)

# 平成27年度点検評価シート

(9事業)

## 目 次

### 平成 27 年度 点検及び評価

1	人吉市奨学金貸与事業（教育総務課）	14～15
2	人吉市花まる教室事業（学校教育課）	16～17
3	学校給食滞納対策事業（学校教育課）	18～19
4	家庭教育学級事業（社会教育課）	20～21
5	スポーツ交流イベント事業（社会教育課）	22～23
6	史跡人吉城跡保存修理事業（歴史遺産課）	24～25
7	歴史的庭園群保存活用事業（歴史遺産課）	26～27
8	人吉球磨総合美展事業（市民文化課）	28～29
9	移動図書館巡回事業（市民文化課）	30～31



## 点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署							
1	事業名	人吉市奨学金貸与事業					
2	担当課名	教育総務課	担当者		—		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし		9	学校教育の充実

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市奨学基金を受けようとするもの			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	奨学金制度を積極的に活用してもらうことにより、経済的理由により就学困難な学生に対して学費を貸与し、その能力に応じた教育を受ける機会を与え、将来有能な人材を育成することを目的としている。また、奨学金制度は、貸与という性格上、当然、返還義務が生じる。確実な返還と滞納額の整理を行うことで奨学金制度の適正かつ安定的な運営を図る。			
6	事業の概要	市の奨学金制度は昭和34年度から施行され現在まで313人が活用している。平成26年度は新規の4人を含め、国公立大学1人、私立大学6人、私立専門学校1人、私立高校1人の計9人が奨学金制度を活用した。奨学金返還については、長期滞納者で居所不明なものに対しては追加調査を行っており、弁護士相談をしながら法的措置も視野に入れ引き続き滞納額の解消に努めた。また新規滞納者にならないように督促状の発送や電話催告、自宅訪問も行っている。全体的に見ると遅れがちなものもまれに見受けられるが概ね返還はされている。			
7	コスト 財源内訳	年度	25	26	27
		合計	41千円	39千円	40千円
	①	国庫補助金			
	②	県補助金			
	③	起債			
	④	その他			
	⑤	一般財源	41	39	40

事業の成果と課題		
8	<b>成果・実績</b> 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	奨学生選考については、5名の選考委員による選考委員会を開催し厳正なる選考の結果を定例教育員会会議で審議し承認されている。継続的に毎年中学校・高校等に呼びかけを行っており、その結果新規奨学生数が4名であったが奨学金運営上適正な人数ととらえている。返還については平成26年度からは3か月以上納付が見られないものに対しては、現在の未納額を知らせる通知を発送し、新規滞納者が出ないようにするとともに、現在の滞納者との繋がりが切れないように努めた。結果として新規滞納者は1人出たが滞納額は減少した。平成25年度末滞納額6,271,000円に対し、平成26年度末現在では6,099,000円である。遅れがちではあるが確実に返納は行われている。
9	今後の課題や改善等	長期滞納者に対しては弁護士相談を行ったが時効により法的措置が困難なケースもあり適切な対応の検討が今後の課題と思われる。 また、奨学基金は税ではないため滞納処分が出来ないことがネックとなっており、今後も必要があれば弁護士相談を行い対応する必要がある。場合によっては県外への現地確認が発生する場合も想定される。

今後の事業計画	
10	<p>今後の事業の方向性</p> <p>奨学金制度は行政が行う事業として趣旨、目的ともに必要な事業であり、今後も継続して実施する。 ただし、返還金の滞納がある現状も事実であり、継続的に安定した運営をするためには今以上にその解消に努め、さらに調査し適切な対応を図ることも必要である。 弁護士相談等をとおして解決法を探り、次なる方法を見つけなければならない。</p>

学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金貸与事業は、経済的理由により進学をあきらめてしまう学生等にとっては有難いものであり、その趣旨や目的等からしても行政として必要な事業と認められるため、今後も継続していくべきであると思う。</li> <li>・公平性の観点から、居所不明等の長期滞納者には法的措置をとる必要があると思われるので、今後は速やかに法的措置を行っていただきたい。</li> <li>・選考の面接時において、保護者に対しては事業内容や返還義務について説明をしてきているようであるが、貸与する本人に対しても返還義務等の自覚を促すことも必要と思われるので、これまで以上に本人にはしっかりと十分な説明を行っていただきたい。</li> <li>・現在、人的保障（連帯保証人等）により貸与を行っているが、選挙権が18歳に引き下げられることも踏まえ、機関的保証（保証会社等による保証）も検討してはどうか。</li> </ul>

教育委員会の評価	
12	<p><b>総合評価</b></p> <p><b>B</b></p> <p>奨学金事業は行政として継続していくべき事業である。</p> <p>返還金の滞納問題については、いろいろな理由により長期化するケースがあるが、景気状況の悪化により返還したくても出来ない人が出てきた場合、制度改正を含め何らかの対応が必要と考える。</p> <p>居所不明者については引き続き粘り強く調査を行い、法的措置等の適正な処理を行っていく。</p> <p>保障制度の改正も検討課題であるものの、同様の制度が取り入れられている自治体も少なく、今後も引き続き調査研究を実施する必要がある。</p>

## 点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署							
1	事業名	人吉市花まる教室事業					
2	担当課名	学校教育課			担当者	—	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし		9	学校教育の充実

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小学校2年生			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	学習を通して、児童の数学的思考力や論理的思考力、空間認識力、判断力、創造力など様々な力を高め、「生きる力」を身につけさせる。			
6	事業の概要	平成25年6月、人吉東小学校をモデル校としてスタートし、10月から残る5つの小学校においても順次開講した。 毎週あるいは隔週に1回、放課後の1時間を利用して行う本事業では、市内の小学2年生の約6割にあたる190人の児童が受講した。花まる学習会の専門指導員の指導のもと、4人1班でアルゴカードやキューブキューブ、オリジナルワークシートなどの教材を用いた学習に取り組み、どの学校においても、通常授業とは一味違った独特の学習に真剣に入り込む児童の姿がうかがえ、活気に満ち溢れた授業が展開された。			
7	コスト 財源内訳	年度	25	26	27
		合計	7,000千円	7,000千円	7,000千円
	①	国庫補助金			
	②	県補助金			
	③	起債			
	④	その他			
	⑤	一般財源	7,000	7,000	7,000

事業の成果と課題		
8	<b>成果・実績</b> 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	民間事業者の学習教材とノウハウを取り入れた授業を展開するという、本市初の試みである。花まる学習会指導員と小学校配置の学力充実支援員との連携により、学校の教員の負担を強いることなく、円滑な事業実施が行えた。
9	今後の課題や改善等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の指導・運営を行う専門指導員の育成</li> <li>・学習の効果、成果が見えるようにする工夫</li> </ul>

今後の事業計画	
10	<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p>参加児童数は、平成25年度が191人、平成26年度が190人と全体の約6～7割に及んだ。年度末に実施した児童及び保護者のアンケートでも、ほとんどの児童が「とても楽しい」「続けてほしい」と答えている。保護者の回答も、継続を求める声が大多数であり、関心と期待の高さがうかがえる。子どもたちの生きる力を養うためにも事業の継続実施が必要であると考え、希望者増に伴う運営方法の工夫や専門指導員の役割については、検討が必要であると考え。</p>

学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業は専門指導員の人材育成が最重要課題であり、ある程度の専門指導員数の確保が出来ない場合は、例えば就学前の子どもたちへの機会提供や、さらなる参加者増への対応、また、その応用にも生かすことが厳しくなり、今後の継続した事業展開に疑問が残る。専門指導員の育成を是非推進していただきたい。</li> <li>・事業自体が単発に終わらないためにも、社会教育の場で学習教材やノウハウを取り入れた授業展開と、それを生かし応用する体験活動とを組み合わせるようなシステムの再構築も検討してはいかがだろうか。</li> <li>・事業には今後の展開も含め期待しているので、事業開始から間もないが、今後の継続のためには事業効果や必要性をしっかりと検証し、参加対象者等にもその効果等が説明できるようにしていただきたい。</li> </ul>

教育委員会の評価			
12	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; background-color: #FFD700;">総合評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; background-color: #FFD700; font-size: 2em; font-weight: bold;">B</td> </tr> </table> <p>小学生を対象とした放課後に展開される人吉市独自の事業であり、参加者や保護者からも高い評価を頂いている事業である。</p> <p>学校教育と社会教育が連携して展開する事業としても重要な事業であり、今後も問題点を改善しつつ継続していくべき事業である。</p> <p>重要事項として専門指導員の育成が挙げられるが、事業継続が可能かどうかの大事な鍵となる部分であるため、最重要課題として引き続き実施する。</p>	総合評価	B
総合評価			
B			

## 点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署							
1	<b>事業名</b>	学校給食費滞納対策事業					
2	<b>担当課名</b>	学校教育課	<b>担当者</b>		—		
3	<b>総合計画における政策体系</b>	<b>政策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>施策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし		9	学校教育の充実

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市内小・中学校の児童・生徒及び保護者			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	学校給食は児童・生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童・生徒の食に関する正しい理解と適正な判断力を養ううえで重要な役割を果たしている。学校給食に要する経費のうち、義務教育諸学校の設置者負担以外に要する経費（食材費）は保護者負担である。そこで、全ての児童・生徒に対し、安定した食材を提供するため、保護者滞納がないよう方策を講じる。			
6	事業の概要	学校と学校給食センター運営委員会とが連携をし、現年度分は学校が主体となり、給食費滞納時の事務処理マニュアルを設け、それに基づいた対応を行っている。必要に応じ、学校長はPTA会長や給食センター所長などの協力を求め、自宅訪問を行うなどの規定を設けている。さらに、過年度滞納の徴収困難と判断された滞納者に対しては、運営委員会事務局（学校給食センター）からの催告状送付、電話連絡、訪問等の対応も併せて行う。			
7	コスト 財源内訳	年度	25	26	27
		合計	0千円	215千円	0千円
		① 国庫補助金			
		② 県補助金			
		③ 起債			
		④ その他			
	⑤ 一般財源	0	215	0	

事業の成果と課題	
8	<b>成果・実績</b> 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】 26年度においては、過年度分滞納額537,241円を徴収した。（25年度滞納分徴収額117,600円）9月、1月に催告状を送付、また電話による催促、自宅訪問などを随時実施した。訪問の際は、各学校の振込先口座を教える、あるいは訪問不在時には訪問票を置くようにするなど、滞納者から連絡ができるようにした。訪問することで、未納していた事実を初めて知った家族もあり、結果として納入に繋がるケースも数件見受けられるなど、26年度は8件の完納に繋がった。
9	<b>今後の課題や改善等</b> 学校給食センターに通常勤務する職員は、市職員3人（所長、主席2人）、栄養教諭2人（学校在籍により給食センターと学校での勤務あり）と市非常勤職員（食物アレルギー対応食専任職員）である。そのほか、調理業務（26人）、配送業務（4人）の委託先職員である。その中で、給食費徴収に関わるのは市職員3人であり、専任の職員がいる訳ではない。原則2人での訪問が望ましいが、それぞれ事務をしながら給食費徴収に費やす時間を生み出すのは容易ではないのが現状である。

## 今後の事業計画

10	今後の事業の方向性	給食費は、食材費を購入するために絶対に必要なものであり、安定した学校給食を運営するうえで、必要不可欠な経費である。学校においては現年度分給食費を中心に徴収しており、また過年度分は運営委員会事務局（学校給食センター）との連携を取りながら、今後も徴収を継続していく。
----	-----------	---

## 学識経験者の意見

11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校長、担任、学校事務職員、PTA、給食センターがそれぞれ連携し全体の課題として滞納対策に取り組んでおられることは、これまで大変なご苦労があったことと思う。その上で、学校によっては徴収方法等の取り組み方や滞納金額に違いがあるとも聞いており、公平性の観点からも平準化するように改善を望むところである。</li> <li>・ 今後も現年度分の新規滞納者が出ないよう、給食費は「食材費」であること、「食材費」は実費であり保護者負担であることを、年度開始時期からPTA総会やPTA新聞での周知啓発等をとおして継続的に取り組んでいただきたい。</li> <li>・ 過年度分の滞納対策については、給食センターだけではなく、特に組織として全体で取り組むべき課題であり、引き続き色々な機会をとらえて粘り強く取り組んでいただきたい。</li> </ul>
----	--

## 教育委員会の評価

12	<div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">総合評価</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 10px auto; width: 40px; text-align: center;">B</div>	<p>給食費滞納対策は、学校、保護者、教育委員会が連携し、たゆまぬ努力の元でこれまでも一定の成果を上げているところである。</p> <p>新規滞納者を作らないための対策としてPTA総会等の機会において早期の説明がなされているが、今後は就学時健診時にも給食費について説明を実施する必要がある。</p> <p>徴収方法の違いや工夫により徴収率に学校間の格差がある場合は早期に是正し、費用対効果を考慮しながら口座引き落としの導入や支払督促等の法的措置についても検討する必要がある。</p> <p>過年度分滞納については、引き続き運営委員会事務局が中心となって徴収を実施していく。</p>
----	--	--



## 点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署							
1	<b>事業名</b>	家庭教育学級事業					
2	<b>担当課名</b>	社会教育課		<b>担当者</b>	—		
3	<b>総合計画における政策体系</b>	<b>政策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>施策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>
2			美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし	8		社会教育の推進	

事業の内容					
4	<b>誰のために行うか</b> 〔具体的な対象者・受益者など〕	乳幼児、園児、児童、生徒及び保護者、教職員、地域住民を対象とする			
5	<b>何のために行うか</b> 〔目的・ねらい・コンセプト〕	心豊かで創造性に富む子どもの育成をめざして家庭の教育力の高揚を図る。教育の原点としての家庭の教育的役割を理解し、親としての自覚を高め愛情に満ちた家庭教育の実践に努める。			
6	<b>事業の概要</b>	<p>幼稚園、保育園、小・中学校や保護者の協力を得て、平成26年度は小中学校6校、幼稚園2園、保育園7園の計15か所、延べ21回開催している。</p> <p>開設校ではそれぞれ運営委員会を中心とした自主的な学級運営を行っている。</p> <p>講演会、ワークショップ、親子で楽しむ実技、芸術鑑賞などの講座を行い、子どもについての理解を深め、親の役割や家庭のあり方等を学んでいる。</p>			
7	<b>コスト</b> 財源内訳	年度	25	26	27
合計		481千円	508千円	501千円	
① 国庫補助金					
② 県補助金					
③ 起債					
④ その他					
⑤ 一般財源		481	508	501	

事業の成果と課題		
8	<b>成果・実績</b> 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>平成25年度は小中学校9校、幼稚園・保育園11園の計20か所で延べ25回、3,293名の参加があった。平成26年度は15か所で延べ21回、2,606名の参加があった。</p> <p>平成25年度の受講者の満足度は、アンケートの結果より「大変よい、よい」が受講者の92%を占めた。平成26年度の受講者の満足度は、アンケートの結果より「大変よい、よい」が受講者の97%を占めた。</p> <p>各学校・園では運営委員会で学習内容の検討や日程調整を行い、充実した内容となるよう工夫して行っている。</p>
9	<b>今後の課題や改善等</b>	<p>時間設定の仕方が難しい。講師の選択が制約される。</p> <p>参加者が固定化している。父親の参加が少ない。</p> <p>地域の情報の提供や啓発活動がまだ十分でない。多くの方が参加できるように広報活動を工夫していく必要がある。</p> <p>課題に応じた家庭教育支援が必要である。家庭教育力高揚のためには地域の方も共に学べるような学習機会の提供が必要である。</p>

今後の事業計画	
10	<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p>社会環境が目まぐるしく変化している今日、家庭教育の重要性はますます高まっており、この事業は継続して行っていくべきものとする。課題に応じた家庭教育支援、地域の方も共に学べるような学習機会の充実や情報の提供を行い、家庭教育力向上を図っていく必要がある。</p>

学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭教育学級は歴史もあり、全ての教育の出発点でもあることから大変重要な事業と認識しており、事業そのものにおいては、参加者の満足度も高くその目的を十分に達成していると推察されるものの、参加者が少ないことが運営上の慢性的な課題であり、運営方法の転換期に来ているのではないかとと思われるため、是非改善検討をお願いしたい。</li> <li>・ 家庭教育は親の姿を子どもたちに見せることも重要であるため、親が地域行事等の活動に参加し溶け込むことも必要である。講演会方式ではなく家庭と地域が一緒になって参加できるような工夫も検討していただきたい。</li> <li>・ その他には、例えばお庭御覧や総合美展などの市の事業とタイアップし、親子で参加する等の企画をすると参加者を増やすことになるのではないかと。</li> <li>・ すべての小中学校、保育園や幼稚園が毎年事業を実施できるように、是非財源の確保をしていただきたい。実施校等を指定する場合は、年度が始まってから公表するのではなく各校等が年間計画を立てる前に輪番計画等で知らせていただくと、主催者は計画を練りやすくなるのではないだろうか。</li> </ul>

教育委員会の評価	
12	<p><b>総合評価</b></p> <p><b>B</b></p> <p>家庭教育は、教育の原点であり教育行政においても非常に重要な事業である一方、地域の繋がりの希薄化や、子育て相談や助け合う機会の減少に伴い家庭教育そのものを取り巻く環境が大きく変化している。</p> <p>地域との繋がりや参加が増えるように、小中連携や幼保小中連携も視野に入れた運営方法の改善、工夫が重要である。</p> <p>家庭教育学級は参加者の満足度も高いことから、集まりやすく楽しめる内容を期待する。</p>



## 点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署							
1	<b>事業名</b>	スポーツ交流イベント事業（ひとよし春風マラソン）					
2	<b>担当課名</b>	社会教育課		<b>担当者</b>	—		
3	<b>総合計画における政策体系</b>	<b>政策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>施策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>
		2		美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし	12		スポーツの振興

事業の内容					
4	<b>誰のために行うか</b> 〔具体的な対象者・受益者など〕	ひとよし春風マラソン参加者、応援する人、関係団体			
5	<b>何のために行うか</b> 〔目的・ねらい・コンセプト〕	スポーツを通して、心身の健康や体力向上を計るとともに、郡市外からの参加者の定着を図り、地域間の交流促進や観光資源等とマッチングした、魅力あふれる地域づくりを目指す。			
6	<b>事業の概要</b>	<p>“いで湯と球磨焼酎・笑顔の里”第12回ひとよし春風マラソンは、ふるさと歴史の広場をメイン会場に「人吉球磨は、ひなまつり」で賑わう中心市街地や清流球磨川沿いのコースを、6千人を超える参加者が走る大会となっている。</p> <p>郷土料理つぼん汁・赤飯・ぜんざい、市内外の温泉施設無料開放など、市民ボランティアと一体となった「おもてなし」により、本市の魅力を発信するとともに地域の活性化につながっている。</p>			
7	<b>コスト</b> 財源内訳	年度	25	26	27
		合計	4,275千円	4,275千円	4,275千円
	①	国庫補助金			
	②	県補助金			
	③	起債			
	④	その他			
	⑤	一般財源	4,275	4,275	4,275

事業の成果と課題		
8	<b>成果・実績</b> 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>昨年の大会は6,408名の申込みがあり、68%は郡市外からの参加者で、地域間交流や地域の活性化に繋がっている。</p> <p>第12回の大会を経て、人吉の春の風物詩といえる大会として市内外に定着してきた。</p> <p>特に市民の温かい声援やボランティアによる「つぼん汁・赤飯・ぜんざい」などのおもてなしは、参加者アンケートでも高い評価を得ている。</p>
9	<b>今後の課題や改善等</b>	<p>参加者数の増加に伴い、スタート地点や折返し・合流地点の混雑解消が課題である。また、ふるさと歴史の広場周辺は駐車場も少ない。</p> <p>これまで12回の開催で、一度も雨と成らなかったのが表面化していないが、雨天時の対応も未知数である。コース幅員・スタート地点を含め駐車場を完備した陸上競技場並びに隣接した体育館（雨天時）などのハード面の整備も課題である。</p>

## 今後の事業計画

### 10 今後の事業の方向性

現状の中で精一杯の課題解決を図っていくが、参加者数の増加による根本的なハード面の課題やボランティアの高齢化と負担増に対して、解決策を見出ししていく必要がある。  
また、観光サイドと連携した事業展開により、本市の魅力を更に発信していくことが、地域の活性化につながると考える。

## 学識経験者の意見

### 11

- ・ 開始以来12回を数え参加者は毎年増加しており、関係者の並々ならぬ努力の賜物であると称賛に値する事業である。特に親子で参加できるスタイルは人吉市の特徴的なものであり、このスタイルの継続を期待する。
- ・ ボランティアの高齢化は全ての事業の課題であるため、各分野での後継者育成や新しい人材の発掘についても重要と考える。一般公募により、関係機関や団体に所属していない人材や、市外の人材にも広く呼びかけていくことも検討してはどうか。
- ・ マラソン大会は、スポーツイベントとして教育の一環と捉えられることもあるが、人吉市の一大イベントとなった現在においては、観光面への寄与も高いと思われ、教育分野か観光分野かの捉え方により、担当部局の見直しを再考する必要があると思われる。

## 教育委員会の評価

### 総合評価

### 12

# A

親子で参加できる独自のスタイルとおもてなしについては、参加者からも高い評価を得ており、検討事項を改善しながら今後も継続して事業を推進していく。

観光面でも生かせるように、アンケート内容について検討の余地があると考えられる。アンケート結果により、運営内容や経済効果等について詳しく把握することは、人吉市全体にとって重要なことである。

参加者の増に伴う駐車場問題等も発生しており、定員制の導入や公認コース認定についても各関係機関・団体等と検討していく必要がある。

## 点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署							
1	事業名	史跡人吉城跡保存修理事業					
2	担当課名	歴史遺産課	担当者		—		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし		11	歴史遺産の保存と活用

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	来訪者、市民			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	史跡来訪者には史跡としての人吉城を体感してもらい、市民にとっては心の拠り所となり、さらには市民が積極的に活用できる史跡としての在り方を目指す。			
6	事業の概要	昭和36年の国指定史跡以降、国・県の助成を得て保存修理事業を進め、昭和59年度の「史跡人吉城保存管理計画書」策定後は、計画書に基づきながら整備を行ってきた。今後は、平成22年度に策定された「史跡人吉城保存管理計画書第2版」に基づきながら、緊急性・優位性の高い事業を優先して実施していくものである。平成26年度は、前年度に引き続いて大手門南側の整備事業を実施し、供用開始することができた。また、次年度以降の整備に向けて、崩落している三の丸北側斜面の修理設計業務を委託した。			
7	コスト 財源内訳	年度	25	26	27
		合計	23,440千円	16,286千円	12,303千円
		① 国庫補助金	17,413	8,041	8,610
		② 県補助金		804	615
		③ 起債			
		④ その他			
	⑤ 一般財源	6,027	7,441	3,078	

事業の成果と課題	
8	<p><b>成果・実績</b> 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <p>人吉城については、国史跡指定以降にシラス台地のお城ということから必要な保存修理工事を行ってきたところであるが、平成15年度からは「ふるさと歴史の広場整備事業」や史跡を総合的に説明できるガイダンス施設「人吉城歴史館」の建設のほか、史跡の積極的活用に必要な環境整備などを行い、江戸時代のお城の景観に近づけるという事業を行ってきた。人吉市民の心の拠り所である人吉城跡の必要な整備を行いながら適正に維持管理していくことは市民福祉のために必要とされている。</p>
9	<p><b>今後の課題や改善等</b></p> <p>当面の事業としては、三の丸の2か所の崩落個所の整備を早急に実施することであるが、工法の検討により工事費を如何に圧縮するかが課題となっている。また、その後においては、石垣の痛みが徐々に目立ってきていることから、この改修に着手すべきであると思われるが、多くの事業費を必要とする。そのほか、市庁舎移転に伴って、その跡地の活用方法の検討も行う必要がある。</p>

## 今後の事業計画

10	今後の事業の方向性	保存修理が必要な箇所や、利活用のため整備すべき箇所が多く存在するが、事業費が多額となる。 人吉市民の心の拠り所として、人吉観光の拠点としての重要性からしても、今後も保存修理は実施していくものの優先度の高い事業から実施していくものとする。
----	-----------	---

## 学識経験者の意見

11		<ul style="list-style-type: none"><li>・人吉城は人吉市のシンボルであり百名城でもあるため、歴史遺産の保存とともに観光面でも重要な史跡であると認識している。保存修理だけでなく活用面での整備も是非力を入れてもらいたい。</li><li>・城跡の活用面としては、子どもスケッチ大会を開催するなど郷土を愛する心を育てるような事業にも力を入れて欲しい。</li><li>・長・中期的な計画で進められる事業だと思うが、「史跡人吉城保存管理計画書第2版」に基づきながら継続して計画的に進めていただきたい。</li></ul>
----	--	--

## 教育委員会の評価

	総合評価	
12	<b>B</b>	人吉城は、歴史的にも価値があるうえ市民からも愛される史跡であり、今後も計画的に保存修理をしていく必要がある。 保存修理とともに、活用に力を注ぐことも重要であり、子どもたちの郷土を愛する心の育成に繋がるような事業の検討が必要である。 観光部局と連携しながら、城址のライトアップや観光案内を継続的に実施していく。

## 点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署							
1	<b>事業名</b>	歴史的庭園群保存活用事業					
2	<b>担当課名</b>	歴史遺産課		<b>担当者</b>	—		
3	<b>総合計画における政策体系</b>	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし		11	歴史遺産の保存と活用

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	来訪者・市民			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	市内にある歴史的庭園を再生し歴史遺産としての評価を行い、観光スポットとする。評価の定まった歴史的庭園については、国の登録記念物（名勝）の登録を目指し、歴史的建造物群とともに歴史遺産としての保存活用を図る。			
6	<b>事業の概要</b>	市内にある歴史的庭園について、その価値や特徴を明らかにして、歴史遺産として評価し、周遊性を持った庭園めぐりを構築する。「お庭御覧」と題して、日本を代表する作庭家・野村勘治氏をお招きして、平成23年度に第1回を開催した。1日目は人吉城御館跡庭園、稲留家庭園を舞台に作庭と庭園鑑賞のポイントを学ぶ臨地講習を実施、身近な庭園が本来の姿によみがえっていく様を体験した。2日目は、マイクロバス等を利用し、講師とともに市内に所在する7庭園の庭園めぐりを実施した。			
7	コスト 財源内訳	年度	25	26	27
		合計	462千円	522千円	583千円
		① 国庫補助金			
		② 県補助金			
		③ 起債			
		④ その他			
	⑤ 一般財源	462	522	583	

事業の成果と課題		
8	<b>成果・実績</b> 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	平成23年度の第1回以降、毎年好評であり、26年度においても1日目が30名、2日目が定員の40名の参加があった。終了後にアンケート調査を実施しているが、満足度は非常に高い。また、「お庭御覧」のイベントのほかに、各庭園には解説版を設置するとともに、パンフレットを作成して観光案内所などで配布をしており、観光スポットの一つとして定着している。
9	<b>今後の課題や改善等</b>	庭園所有者の主体的な参加と管理団体の育成が、今後の事業展開を行っていくうえで重要である。臨地講習を行う場所や方法が限られているため今後どのように行っていくか、また、大変好評ではあるが今以上の人数での実施ができないことが課題である。国の登録記念物（名勝）の登録を目指すものがあるが、そのための調査研究が必要である。

## 今後の事業計画

10	<b>今後の事業の方向性</b>	参加者アンケートにおいても大変好評であること、また観光スポットとしての定着も少しずつ進んでいることから、今後においても改善点の検討を行って事業を実施したい。また、国の登録記念物（名勝）の登録についても早急に進めていきたい。
----	------------------	---

## 学識経験者の意見

11		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史遺産の保存のみならず活用についてしっかりと企画されており大変良い事業である。市内を散策する観光スポットとしても今後に期待する。</li> <li>・ 観光事業としても大きく活用できる内容であるため、相良三十三観音めぐり等のような地域一体型への展開や、観光協会・JR・くまがわ鉄道・タクシー会社・球磨焼酎蔵元などとのコラボレーションも考えていただきたい。</li> <li>・ 日本遺産認定を生かし、他町村との連携も視野に入れた事業展開を希望する。</li> <li>・ 専門家の正確な説明とまではいなくても、庭園管理者の方々にある程度の説明ができるようになっていただくことも重要である。また、案内人を配置したり案内の為の看板等を設置するなど財政的な援助も必要ではないか。</li> </ul>
----	--	---

## 教育委員会の評価

	<b>総合評価</b>	
12	<b>B</b>	<p>歴史的庭園の価値と特長を明らかにし、庭園めぐりとして広く周知するこの事業は参加者の満足度も高く本市の観光資源として重要な事業である。</p> <p>観光資源としての活用を今後図って行くのであれば、さらに認知度を高めるため情報発信に力をいれる必要がある。市内の参加者が多いため、市外の人も参加しやすいような事業展開をしていく。</p> <p>日本遺産認定を生かし、文化財の有効活用を観光事業として活用していくためには解説案内板の設置など、財政的にも支援できる体制の確立も今後は検討していく。</p>



## 点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署							
1	<b>事業名</b>	人吉球磨総合美展事業					
2	<b>担当課名</b>	市民文化課		<b>担当者</b>	—		
3	<b>総合計画における政策体系</b>	<b>政策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>施策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし		10	市民芸術・文化の振興と継承

事業の内容					
4	<b>誰のために行うか</b> 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉球磨の芸術愛好家			
5	<b>何のために行うか</b> 〔目的・ねらい・コンセプト〕	山紫水明の詩情豊かな人吉球磨の魅力を広く啓発すると共に、住民の創作意欲を高め、地域文化の発展を図ることを目的とする。			
6	<b>事業の概要</b>	今年で62回目を迎える、人吉球磨で唯一の公的な美術展覧会である。教育委員会・人吉美術協会・熊日新聞社の共催で、芸術の秋を彩る美展として例年10月中旬に開催しており、絵画・デザイン・彫刻・書道・工芸・写真の6部門で作品審査。入賞入選作品の展示を行っている。			
7	<b>コスト</b> 財源内訳	年度	25	26	27
		合計	2,678千円	2,511千円	2,974千円
		① 国庫補助金			
		② 県補助金			
		③ 起債			
		④ その他			
	⑤ 一般財源	2,678	2,511	2,974	

事業の成果と課題		
8	<b>成果・実績</b> 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	平成26年度の出品総数は296点、展示期間中の入場者数は1,841人であった。ここ数年の推移で見るとやや微減傾向にあるが、出品者のレベルは高く、例年多彩な作品で見応えがあるとの審査員は勿論のこと一般の入場者からも評価をいただいている。
9	<b>今後の課題や改善等</b>	出品者が固定化してきているので、新規の出品者を掘り起こすためにも作品募集の早めの周知を図り、出品者の拡大と出品数の増加を図る。

## 今後の事業計画

### 10 今後の事業の方向性

美展は日頃の芸術的創作活動の集大成として、その才能と感性を余すところなく発揮いただける場として定着しており、その存在は市民にとって意義あるものとなっている。

## 学識経験者の意見

### 11

- ・ 62回を迎えるということはスタッフや関係者を含め色々な方々の努力の賜物だと思われるので、回数ももう少しアピールしてもいいのではないか。
- ・ 芸術的レベルの高い美術展覧会であるとともに、敷居の高い展覧会になっている部分もあると思われる。出品数の拡大や出品者の固定化を打破するためにも、もう少し身近に感じられ気軽に参加できるような工夫も必要である。
- ・ この美展は非常に意義もあり歴史もある事業である。それだけに愛好家の方だけでなく、もっと多くの人吉球磨の住民に足を運んでもらえるような事業展開を望む。

## 教育委員会の評価

### 総合評価

### 12

**A**

歴史ある芸術的レベルの高いこの美術展覧会は、地元の若手芸術家の登竜門として位置づけされており、来場者からも高い評価を得ている事業であるため、今後も継続して推進していく。

出品者の固定化や来場者の減が問題となっているが、例えば学校の児童・生徒も出品できるような内容の検討、あるいは児童・生徒が授業の一環として来場できるように学校と連携することも検討する必要がある。

人吉球磨総合美展の品格や歴史、美術品の水準を保ちながら諸問題を解決するには、様々な立場からの意見を募り、工夫をしていく必要がある。



## 点検評価シート（評価対象：平成26年度事業）

事業名・担当部署						
1	<b>事業名</b>	移動図書館巡回事業				
2	<b>担当課名</b>	市民文化課図書館係	<b>担当者</b>		—	
3	<b>総合計画における政策体系</b>	<b>政策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>		
			2	美しき相良700年の歴史文化都市ひとよし		
			<b>施策</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	
				8	社会教育の推進	

事業の内容						
4	<b>誰のために行うか</b> 〔具体的な対象者・受益者など〕	幼児から高齢者に至るまでの幅広い市民を対象				
5	<b>何のために行うか</b> 〔目的・ねらい・コンセプト〕	移動図書館の巡回を行うことで、図書館に足を運ぶことなく身近な場所で読書に親しんでいただき、図書活動の促進、社会教育の推進を図る。				
6	<b>事業の概要</b>	<p>約1,000冊の本を積載した自動車「さわやか号」で、全37か所の施設を概ね3週間に1回の割合で巡回している。施設の内訳は、保育園・幼稚園21か所、小中学校10か所、コミセン等6か所である。</p> <p>1か所での滞在時間は40分程度で、この時間内に、貸出資料の展示及び返却・貸出業務を行っている。</p>				
7	コスト 財源内訳	年度	25	26	27	
		合計	2,017千円	2,024千円	2,069千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
	⑤ 一般財源	2,017	2,024	2,069		

事業の成果と課題		
8	<b>成果・実績</b> 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>全37か所で、合計356回実施し、27,341冊（1回あたり平均76.8冊）の利用があった。</p> <p>保育園・幼稚園・小中学校への巡回は、子どもたちが、自施設では所蔵していない多種多様な図書に触れる機会を提供しており、子どもたちの読書環境や読書意欲を向上させることができた。</p>
9	<b>今後の課題や改善等</b>	<p>社会人・高齢者向けに、希望ヶ丘学園・延寿荘・うぐいす荘、各コミセン（5か所）を巡回した。希望ヶ丘学園等は、445冊（1回あたり平均44.5冊）の利用があったが、コミセンは広報への掲載や施設への掲示など周知に努めたものの利用実績がなかった。</p> <p>社会人・高齢者が利用しやすい巡回場所の再編等を検討する必要がある。</p>

## 今後の事業計画

### 10 今後の事業の方向性

図書館に足を運ぶことなく、読書に親しむことができる移動図書館は、特に子どもや高齢者にとって、意義のある事業であり、概ねその目的に沿って進んでいるため、今後も継続していきたい。  
ただ、社会人や高齢者の利用が少ないため、老人ホームや企業等への巡回ができないか検討し、利用促進を図っていくこととする。

## 学識経験者の意見

### 11

- ・若者の活字離れ、読書離れが言われている中、子どもたちに読書の機会を与えるこの事業の果たす役割は大きいので、是非継続していただきたい。
- ・幼児や児童も大変楽しみにしていると聞いている。今後は老人ホームやホームヘルパー事業所などと連携するほか、公民館活動の中に事業展開を組み込んだりするなど高齢者や社会人へ向けた力を入れていただきたい。
- ・重要な事業と思われるので、効率や効果を考慮した移動図書館の巡回コース見直しを図るとともに、移動車の追加購入も検討していただきたい。

## 教育委員会の評価

### 総合評価

### 12

**A**

移動図書館事業は、保育園や学校が所蔵していない図書を読める非常に良い機会であり大変好評な事業である。

また、高齢者にとっても読書の機会が得られる重要な事業であるので、引き続き実施していく必要がある。

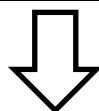
今後は効率的な巡回コースを検討するとともに、利用者の利便性や拡大を図るべく、大型店駐車場での展開やデイサロンなどへの対応も検討していく。

## <教育方針>

### 《 基本理念 》

本市は、「市民が様々な可能性を追求することができ、かつ美しい自然や歴史を未来に継承しながら、活気と賑わいに満ちた健康で笑顔で暮らせるまちづくり」を進めています。本市教育は、このまちづくりの理念のもと、市民一人一人が自ら学ぶ意欲を養うことで、将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人間力（人として生きる力）を育み、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指します。

このため、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、社会状況の変化に対応する教育の向上に取り組み、豊かな人間性と創造力・国際性を備えた人材の育成や、たくましく生きる力を育む教育を推進します。



### < 教育目標 >

#### I 生きがいを持って生活できる学習環境の整備

市民が、生涯にわたって自発的に学び、芸術・文化・スポーツ等に親しむことを通して、生きがいを持って生活できる学習環境の整備を推進します。

#### II 家庭・地域の教育力の向上と支援体制の充実

家庭や地域の教育力の向上に向けた取り組みを推進するとともに、学校、家庭、地域社会が連携して子どもを育てる環境づくりを推進します。

#### III 「知・徳・体」の調和のとれた力を育む学校教育の推進

子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として生きる基礎となる「知・徳・体」の調和のとれた力を育む学校教育を推進します。

#### IV 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備

豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、活用に努めるとともに、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む環境整備を推進します。